

岡山済生会総合病院倫理審査委員会 会議の記録の概要（2020年2月分）
（臨床研究関連のみ）

開催日時	2020年2月13日（木） 16時30分～17時29分
開催場所	岡山済生会総合病院 管理棟4階 第3・4会議室
出席委員名	塩出 純二、仁熊 健文、西山 宜孝、田中 弘之、那須 淳一郎、川上 恭弘、南石 良子、多田 幸子 木村 泰治、則武 有美、南本 一志、山田 宗志

1. 臨床研究について

研究課題名	当院責任者	区分	内容及び結果
日本整形外科学会症例レジストリー（JOANR） 構築に関する研究	整形外科・医師 近藤 秀則	多施設共同研究 （他院主管）	研究実施について迅速審査を行い、承認となったことを報告した。 審議結果－了承
臨床因子を用いた肝切除困難例性の術前予測評価	外科・医師 藤 智和	単施設研究	研究実施について迅速審査を行い、承認となったことを報告した。 審議結果－了承
正常眼圧緑内障に対する第一選択治療および第二選択治療としての選択的レーザー線維柱帯形成術の有効性及び安全性に関する前向き介入研究	眼科・医師 成田 亜希子	多施設共同研究 （他院主管）	研究計画の変更について迅速審査を行い、承認となったことを報告した。 審議結果－了承
異時性多発肺癌の予後因子に関する後方視的研究	外科・医師 片岡 正文	単施設研究	研究実施について迅速審査を行い、承認となったことを報告した。 審議結果－了承
原発性小腸癌手術例の検討	外科・医師 三宅 英輝	単施設研究	研究実施について迅速審査を行い、承認となったことを報告した。 審議結果－了承
高齢者救急集中治療に対してフレイルが及ぼす影響についての多施設共同研究	救急科・医師 野崎 哲	多施設共同研究 （他院主管）	研究計画の変更について迅速審査を行い、承認となったことを報告した。 審議結果－了承
Peutz-Jeghers 症候群の胃病変の臨床的特徴に関する解析	内科・医師	多施設共同研究	研究計画の変更について迅速審査を行い、承認となったことを報告した。

	吉岡 正雄	(他院主管)	審議結果—了承
「C 型肝炎患者に対するペグインターフェロン/リバビリン併用療法及びペグインターフェロン/リバビリン/プロテアーゼ阻害薬併用療法と、インターフェロンフリー経口抗ウイルス治療薬による HCV-RNA 持続陰性化症例における肝発癌抑制効果の検討」 —全国済生会肝臓研究グループ多施設共同研究—	内科・医師 池田 房雄	多施設共同研究 (他院主管)	研究実施について迅速審査を行い、承認となったことを報告した。 審議結果—了承
ニプロ社製透析モニターHDO3 を用いた VA カテーテル使用時の実血流量と再循環率の測定	臨床工学科 臨床工学技士 滝澤 友美	単施設研究	研究実施について迅速審査を行い、承認となったことを報告した。 審議結果—了承
トロンボモデュリンアルファ投与による DIC 離脱率と効果予測因子についての検討	薬剤科・薬剤師 小武 和正	単施設研究	研究実施について迅速審査を行い、承認となったことを報告した。 審議結果—了承
JCOG1018: 高齢切除不能進行大腸癌に対する全身化学療法に関するランダム化比較第Ⅲ相試験	外科・医師 赤在 義浩	多施設共同研究 (他院主管)	特定臨床研究の終了について報告を行なった。 審議結果—了承
JCOG1310: 側方リンパ節転移が疑われる下部直腸癌に対する術前化学療法の意義に関するランダム化比較第Ⅱ/Ⅲ相試験	外科・医師 赤在 義浩	多施設共同研究 (他院主管)	特定臨床研究の終了について報告を行なった。 審議結果—了承
JCOG1310: 側方リンパ節転移が疑われる下部直腸癌に対する術前化学療法の意義に関するランダム化比較第Ⅱ/Ⅲ相試験	外科・医師 赤在 義浩	多施設共同研究 (他院主管)	特定臨床研究の研究計画の変更について報告を行なった。 審議結果—了承
JCOG0603: 大腸癌肝転移切除後患者を対象としたフルオロウラシル/1-ロイコボリンとオキサリプラチン併用補助化学療法 (mFOLFOX6) vs.手術単独によるランダム化Ⅱ/Ⅲ相試験	外科・医師 赤在 義浩	多施設共同研究 (他院主管)	特定臨床研究の終了について報告を行なった。 審議結果—了承
JCOG0603: 大腸癌肝転移切除後患者を対象としたフルオロウラシル/1-ロイコボリンとオキサリプラチン併用補助化学療法 (mFOLFOX6) vs.手術単独によるランダム化Ⅱ/Ⅲ相試験	外科・医師 赤在 義浩	多施設共同研究 (他院主管)	特定臨床研究の研究計画の変更について報告を行なった。 審議結果—了承

2. 新療法導入について

ロボット(ダビンチ)支援下 膵頭十二指腸切除術、膵体尾部切除術	外科・医師 仁熊 健文	次回審査を行う旨を報告した。 審査結果一了承
ロボット支援前立腺全摘除術	泌尿器科・医師 日下 信行	実施状況について報告を行なった。 審議結果一了承